

2017年3月28日

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人子どもシェルターモモ

代表者・役職名 氏名 理事長 東 隆司



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

女子用自立援助ホーム「あてんぼ」環境整備事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

虐待等により行き場のない困難を抱えるハイティーンの子どもの居場所をつくり、子どもの法的支援と福祉的支援を行うことを目的に、平成20年9月に弁護士、児童福祉関係者が中心となり設立しました。子どもシェルター「モモの家(女子用)」と自立援助ホーム「おもと荘(男子用)」、「あてんぼ(女子用)」を設け、家庭で暮らせない子どもの自立を支援しています。正会員145名、賛助会員114名。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

平成27年10月に女子用の自立援助ホーム「あてんぼ」を新たに開設しました。平成27年1月に廃止した女子用自立援助ホーム「茶屋町荘」のものを利用したり、寄付で購入して備品を揃えましたが、実際に運営してみると故障して使用できなかったり、不足しているものもあり、子どもたちが不自由が見られるようになりました。そこで、子どもたちが快適に暮らすことのできる環境を整備するための備品を購入したいと考えました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

あてんぼの環境整備のため、下記の備品を購入させていただきました。

●冷蔵庫、冷凍庫

フードバンク等から提供される食材を保管しておくために活用しています。

●洗濯機

「茶屋町荘」で使用していた洗濯機を修理して使用していました。洗濯については自立に向けた練習のため各自で行うこととしていますが、入所者数が増えるにつれて1台では足りなくなったため、急遽購入させていただきました。

●自転車

「茶屋町荘」のものを3台利用していますが、台数が不足していました。

●布団セット

児童が入所するたびに新品を購入し、退所時には本人が使用していた布団を持たせるため、新品のストックを用意しておく必要があります。

●フライパン、アイロン、シュレッダー等備品

実際に運営をしてみて追加が必要となりました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「結果」

子どもたちが安心して快適に生活するために必要な備品を揃える事が出来ました。

「成果」

岡山市中心部へ自転車で通えるようになることで、子どもたちの就職先の幅を広げることが出来ました。

自分専用の布団で安心して眠ることが出来、自立の際の自己負担を軽減することが出来ます。

「社会的な変化」「効果」

本助成金で子どもも職員も安心して生活できる環境を整えたことで、子どもたちは社会に出ていくための心と体の準備を落ち着いて行うことが出来、自立に向けた意欲の向上が図られました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

子どもシェルターモモでは、施設を退所した後のフォローアップも行っており、継続的に関わりを持ちながら、子どもたちの自立を支えています。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



食卓



ボウル、ジューサー



自転車



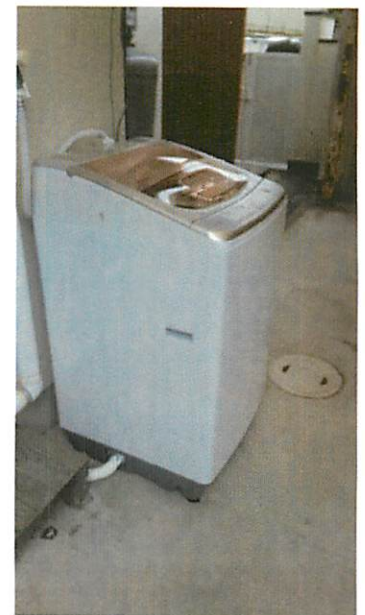
布団セット



自転車



冷蔵庫・冷凍庫



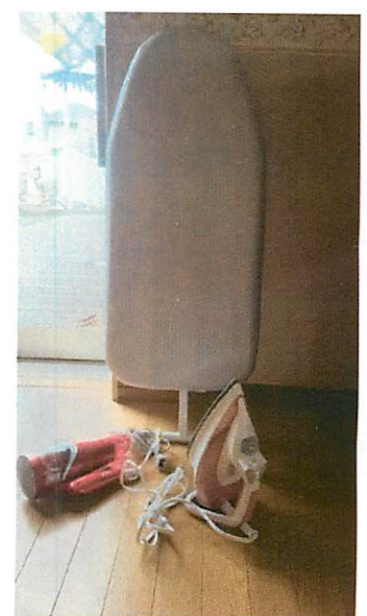
洗濯機



カラーボックス



シュレッダー



ドライヤー、アイロン、アイロン台